

JOYFUL HONDA

原点回帰と新しい企業文化の創造

2024年6月期第3四半期
決算補足資料

株式会社ジョイフル本田

(証券コード 3191)

2024年5月2日

24/6期3Q 決算のポイント

1 累計売上高は前期比 102.5%、出店効果と3Q単独売上高が寄与

- ・ 3Q単独売上高前期比 104.1%、既存店累計売上高前期比 98.5%まで伸長
- ・ 営業利益はとりわけ減価償却費と人件費の増加により前期比 91.5%、通期予想の進捗率は77.2%

2 資本効率と企業価値向上を意識した取り組み

- ・ ASR活用による取得自己株式は、既定方針に基づき消却予定（2024年5月2日公表）
- ・ 専門店の積極的な出店、宇都宮元今泉店に続き立川幸町店オープン（2024年6月予定）

<当資料の前提>

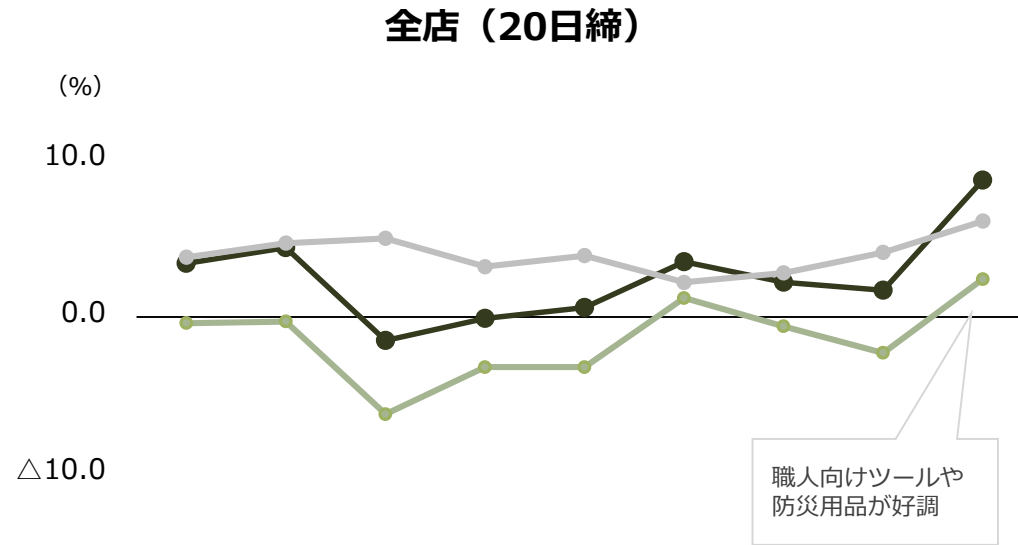
- ・ 24/6期の決算業績対象範囲を基本とし、実質比較のため、それ以前も同じ業績対象範囲で算出した数値で記載
- ・ 22/6期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用、実質比較のため、それ以前も同じ基準で算出した数値で記載
- ・ 上記により、過年度の数値は決算短信に記載の数値とは一部異なる

	23/6期 3Q累計	24/6期 3Q累計	通期予想	前期比		通期予想比 %	コメント（対前期比）
				金額	%		
売上高	91,082 (100.0)	93,346 (100.0)	134,000 (100.0)	+2,264	102.5	69.7	・既存店前期比 98.5%まで伸長 (2Q累計 97.9%)
売上総利益	29,311 (32.2)	29,662 (31.8)	43,800 (32.7)	+351	101.2	67.7	
営業収入	4,300 (4.7)	4,760 (5.1)	6,200 (4.6)	+459	110.7	76.8	・ジョイホンパーク吉岡のテナント収益が上乗せ されたことが主要因
営業総利益	33,611 (36.9)	34,423 (36.9)	50,000 (37.3)	+811	102.4	68.8	
販管費	24,918 (27.4)	26,470 (28.4)	39,700 (29.6)	+1,551	106.2	66.7	・「人件費」「減価償却費」「その他」が増加
営業利益	8,692 (9.5)	7,952 (8.5)	10,300 (7.7)	△739	91.5	77.2	
経常利益	9,441 (10.4)	8,777 (9.4)	11,260 (8.4)	△663	93.0	78.0	
税引前純利益	9,426 (10.3)	8,797 (9.4)	11,200 (8.4)	△628	93.3	78.6	
純利益	6,482 (7.1)	6,077 (6.5)	7,800 (5.8)	△405	93.7	77.9	

注：単位は百万円、%、（ ）内は売上高比率、百万円未満切り捨て、小数点以下第2位四捨五入

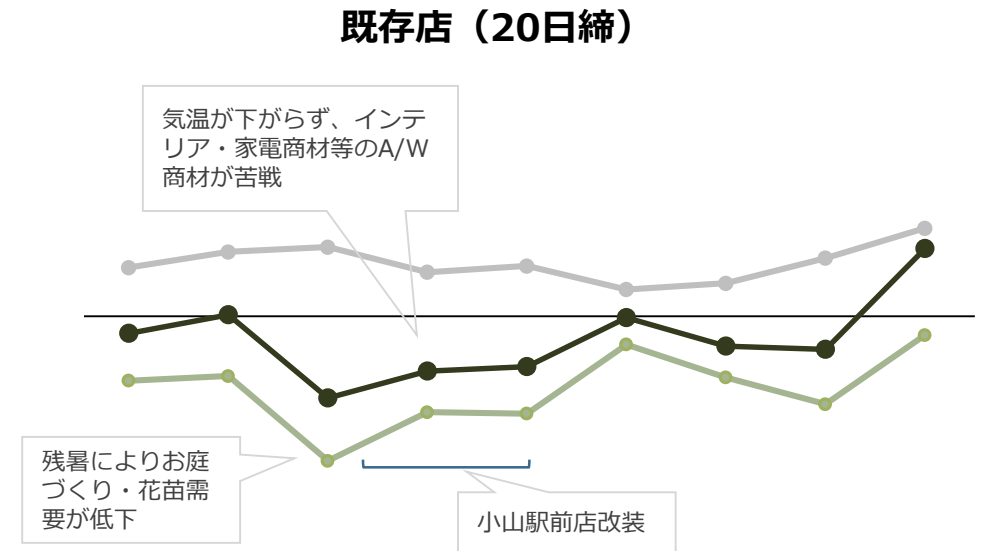
月次売上高の対前年同月比

- ・ 3Q単独では、全店売上高 104.1%、客数 99.8%、客単価 104.3%
- ・ 3月度は既存店売上高・客単価ともに伸長。職人向けツールや防災用品が好調



24/6期
7月度 8月度 9月度 10月度 11月度 12月度 1月度 2月度 3月度

	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度
● : 売上	3.4	4.4	△1.5	△0.1	0.6	3.5	2.2	1.7	8.7
● : 客数	△0.4	△0.3	△6.2	△3.2	△3.2	1.2	△0.6	△2.3	2.4
● : 客単価	3.8	4.7	5.0	3.2	3.9	2.2	2.8	4.1	6.1



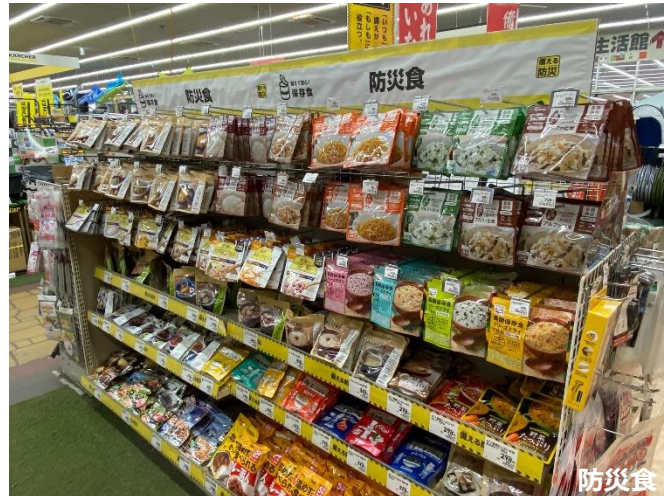
24/6期
7月度 8月度 9月度 10月度 11月度 12月度 1月度 2月度 3月度

	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度
● : 売上	△1.1	0.1	△5.2	△3.5	△3.2	△0.1	△1.9	△2.1	4.3
● : 客数	△4.1	△3.8	△9.2	△6.1	△6.2	△1.8	△3.9	△5.6	△1.2
● : 客単価	3.1	4.1	4.4	2.8	3.2	1.7	2.1	3.7	5.6

お客様のニーズにお応えした商品供給（当社の強み）

- ・ 有事の際、地域の拠り所となることを目指して、安定した商品供給と広大な売場を活用した生活提案に取り組みます

2024年6月期3Q



1月の能登半島地震、3月の千葉県東方沖地震時の「防災用品」、紙製品高騰の報道による「家庭紙製品（ティッシュ・トイレットロール）」、品薄が続いている「建設用電線ケーブル」などの需要に対して、商品供給はもちろん売場拡大やコーナー化に取り組みました。

2023年6月期3Q



- ・ マスクの需要が継続し、大容量品が好調
- ・ 寒波の影響による凍結被害として配管等が破損し、配管や散水用品等の補修需要が急増
- ・ 強盗事件の報道により防犯意識が高まり、各商品グループで防犯用品のニーズが上昇

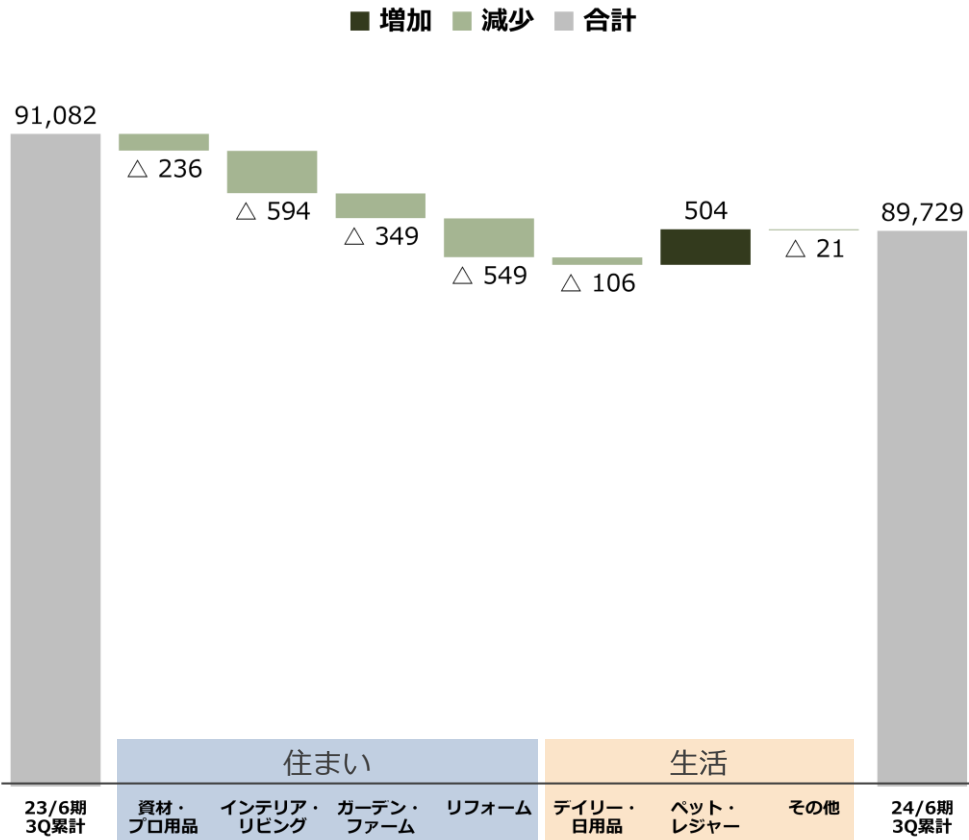
注：価格は撮影当時のものです

商品グループ別売上高および売上高構成比

- ・「住まい」の売上不振理由は、天候不順による季節品の不調と資材の需要低下
- ・「生活」は、デイリー・日用品が回復基調、ペットはプレミアムフードが好調

売上高の増減（既存店）

(百万円)



全店売上高構成比

(%)

23/6期3Q累計

24/6期3Q累計



■ 住まい

資材・プロ用品、インテリア・リビング
ガーデン・ファーム、リフォーム

■ 生活

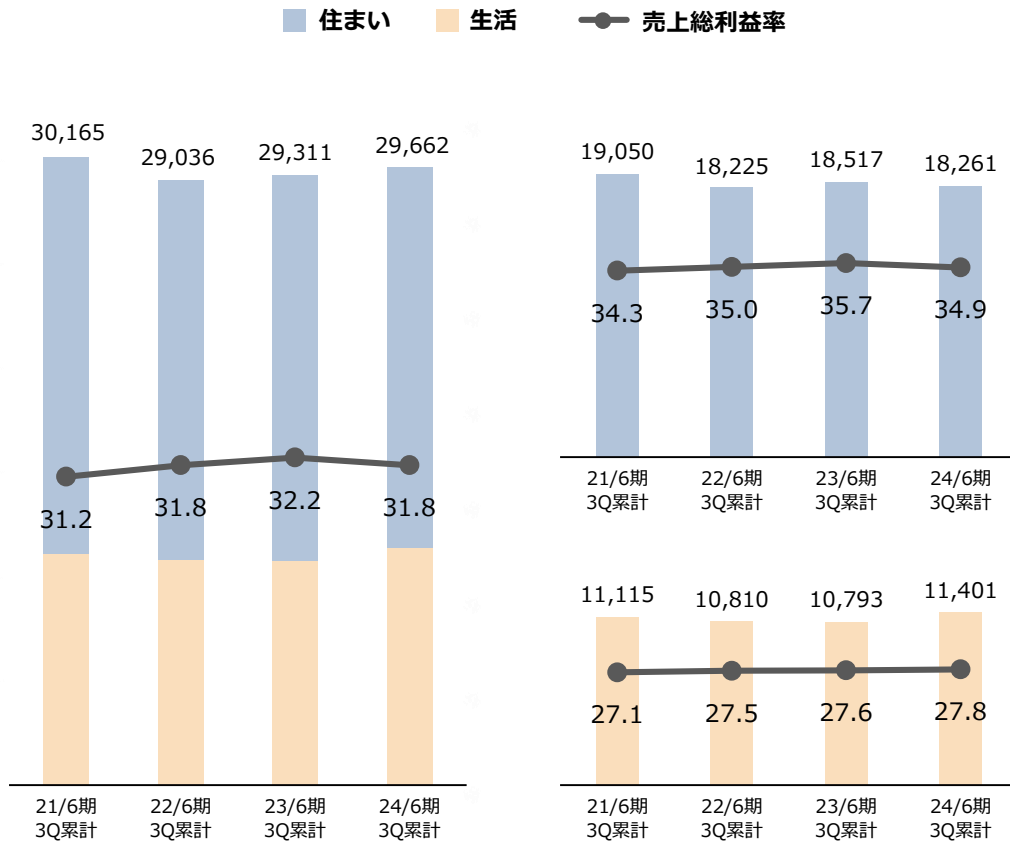
デイリー・日用品、ペット・レジャー、その他

売上総利益および販管費

- ・ 暖冬による冬物商材の値下げ販売等の影響により、3Qの売上総利益率が低下
- ・ 販管費の増加は人・新店への投資とキャッシュレス化でクレジット手数料増加

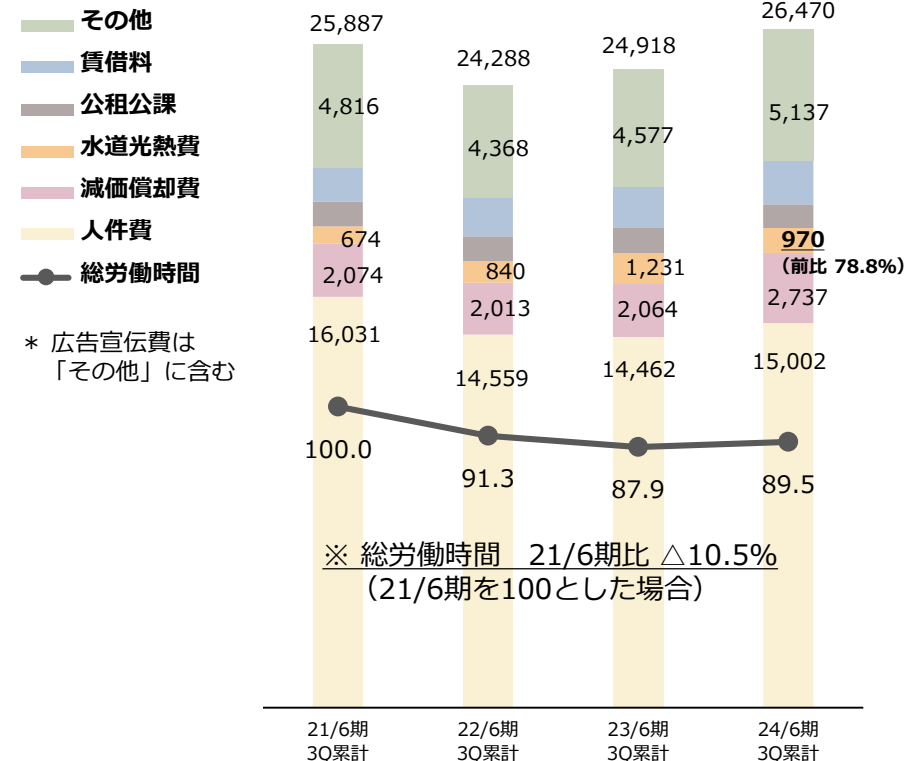
売上総利益の推移

(百万円、%)



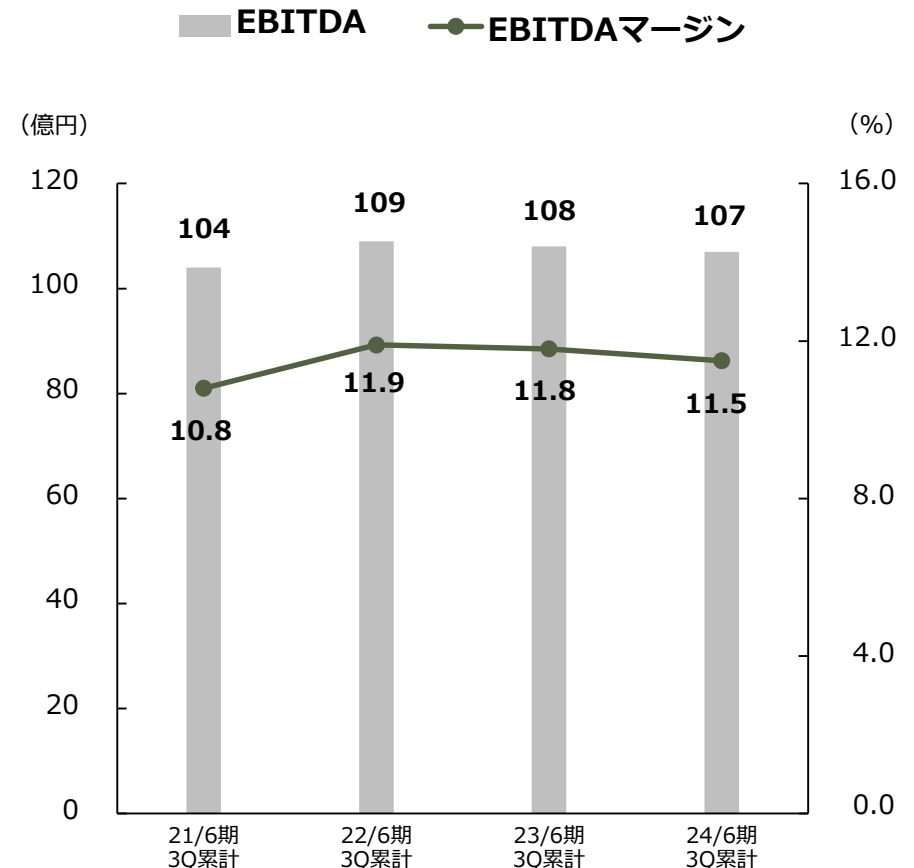
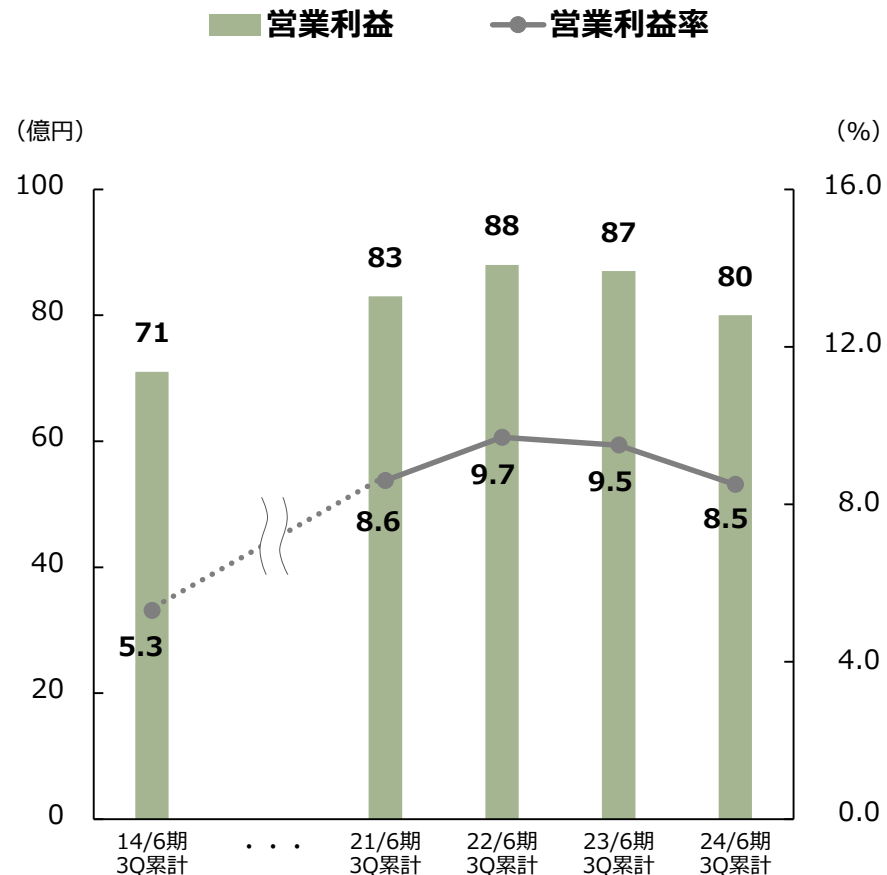
販管費と総労働時間の推移

(百万円、%)



営業利益およびEBITDA

- ・ 営業利益は前期比 91.5% (△739百万円) : 水道光熱費前期比 78.8%
- ・ EBITDAマージンは11.5% : 中期経営計画の目標 (11.5%) と同等



注：億円は千万円単位を四捨五入、小数点以下第2位四捨五入

2024年6月期 主要テーマ／3Qの取り組み

- ・ 2期連続で年間休日数の増加とベアを実施し、働きやすい職場環境を醸成
- ・ 君津店（千葉県）で「本田屋」をインショップ化
- ・ 安心して暮らせる街づくりを目指して出店地域自治体と積極的に連携

1. 人への投資

- ・ 年間休日数：111日 → 114日
（前期実績 108日 → 111日）
- ・ ベースアップ：ナショナル社員 7,000円
（時給制社員は2023年9月より一律50円/hの引き上げ）
* ナショナル社員：勤務地を限定せず働く社員

3. 持続可能で豊かな社会実現に貢献

- ・ 災害等の協定締結



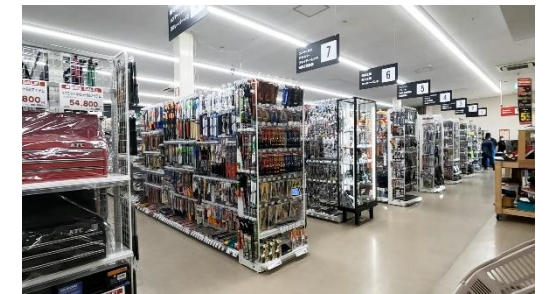
幸手市（埼玉県）



吉岡町（群馬県）

2. 同質化競争からの脱却

- ・ 既存店の本田屋化（君津店）



		23/6期 3Q末	23/6期 期末	24/6期 3Q末	前年 同期末比	前期末比	コメント(対前期末比)
資産の部	流動資産	61,454	60,614	56,287	△5,166	△4,326	
	現金及び預金	37,244	35,022	30,482	△6,761	△4,539	
	売掛金 *1	3,637	4,065	4,374	736	309	・約50億円の自己株式を取得 ・新店在庫および既存店の専門店化により たな卸資産の増加
	商品 *2	18,476	18,729	19,878	1,401	1,148	
	固定資産	99,281	100,313	98,957	△324	△1,355	
	資産合計	160,735	160,927	155,244	△5,490	△5,682	
負債・純資産の部	流動負債	21,161	19,486	17,758	△3,402	△1,728	
	買掛金	7,368	6,511	7,278	△89	767	
	短期借入金	0	0	0	—	—	
	1年内返済予定の長期借入金	3,337	3,091	2,932	△404	△158	
	固定負債	22,374	22,111	19,655	△2,719	△2,456	・純資産が約15億円減少
	長期借入金	9,858	9,120	6,925	△2,932	△2,195	
	負債合計	43,535	41,598	37,413	△6,122	△4,184	
	株主資本合計	116,227	118,273	116,384	157	△1,888	
純資産合計	117,200	119,329	117,831	631	△1,497		
負債・純資産合計	160,735	160,927	155,244	△5,490	△5,682		

*1: 22/6期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用、売掛金には契約資産を含む

*2: 商品には、仕掛品、未成工事支出金、未着品、原材料及び貯蔵品を含む

設備投資および減価償却費、キャッシュ・フロー

1. 設備投資および減価償却費

	21/6期 3Q累計	22/6期 3Q累計	23/6期 3Q累計	24/6期 3Q累計	コメント	24/6期末予想
設備投資	1,167	5,518	6,962	899	・太陽光発電設備をPPAにすることで当初計画より投資額が減少	4,600
減価償却費	2,074	2,013	2,064	2,737	・主要因は新店コスト（ジョイホンパーク吉岡）	3,700

2. キャッシュ・フロー

	21/6期 3Q累計	22/6期 3Q累計	23/6期 3Q累計	24/6期 3Q累計	主な内訳
営業活動によるCF	6,844	3,940	6,597	7,563	・税引前当期純利益 +8,797
投資活動によるCF	2,428	△1,919	△3,307	△1,679	・有形・無形固定資産の取得支出 △1,330
財務活動によるCF	△5,727	△11,099	△8,565	△10,423	・長期借入金の返済支出 △2,353 ・配当金の支払 △3,044 ・自己株式の取得支出 △4,999
現金及び現金同等物の増減額	3,545	△9,078	△5,275	△4,539	・上記CFの合計
現金及び現金同等物の期末残高	41,420	36,417	37,206	30,444	

P/L (3Q单独)

	1Q	2Q	3Q	前期比	
				金額	%
売上高	31,634 (100.0)	31,697 (100.0)	30,014 (100.0)	+1,168	104.1
売上総利益	10,072 (31.8)	10,174 (32.1)	9,415 (31.4)	+326	103.6
営業収入	1,592 (5.0)	1,564 (4.9)	1,603 (5.3)	+151	110.5
営業総利益	11,664 (36.9)	11,739 (37.0)	11,019 (36.7)	+478	104.5
販管費	8,861 (28.0)	9,015 (28.4)	8,593 (28.6)	+553	106.9
営業利益	2,803 (8.9)	2,724 (8.6)	2,425 (8.1)	△74	97.0
経常利益	3,093 (9.8)	2,995 (9.4)	2,688 (9.0)	△59	97.8
税引前純利益	3,089 (9.8)	2,953 (9.3)	2,754 (9.2)	+7	100.3
純利益	2,136 (6.8)	2,043 (6.4)	1,896 (6.3)	+3	100.2

注：単位は百万円、%、（ ）内は売上高比率、百万円未満切り捨て、小数点以下第2位四捨五入

商品グループ別売上高および構成比の推移

	21/6期 3Q累計	22/6期 3Q累計	23/6期 3Q累計	24/6期 3Q累計
住まい	55,501 (57.5)	52,091 (57.0)	51,936 (57.0)	52,374 (56.1)
資材・プロ用品	16,826 (17.4)	16,466 (18.0)	16,460 (18.1)	16,982 (18.2)
インテリア・リビング	14,037 (14.5)	13,342 (14.6)	13,347 (14.7)	13,310 (14.3)
ガーデン・ファーム	12,810 (13.3)	11,444 (12.5)	11,481 (12.6)	11,498 (12.3)
リフォーム	11,827 (12.2)	10,836 (11.9)	10,647 (11.7)	10,581 (11.3)
生活	41,079 (42.5)	39,309 (43.0)	39,145 (43.0)	40,972 (43.9)
デイリー・日用品	29,113 (30.1)	27,405 (30.0)	27,039 (29.7)	27,858 (29.8)
ペット・レジャー	11,148 (11.5)	11,096 (12.1)	11,336 (12.4)	12,373 (13.3)
ガソリン・灯油	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
その他	818 (0.8)	807 (0.9)	769 (0.8)	740 (0.8)
合計	96,581	91,400	91,082	93,346

注：単位は百万円、%、（ ）内は売上高比率、百万円未満切り捨て、小数点以下第2位四捨五入

将来の見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料は、2024年5月2日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果がある点を確認された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましては、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

【IRに関する問い合わせ先】

広報・IR部 E-mail : 3191ir@joyfulhonda.co.jp
電話 : 029-822-2215 (代)